

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

手塚よしお

くらしの不安

いなば太郎

「未婚化」 + 「生活不安」

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

若宮健嗣

若年層のキャリア志向化に伴い、結婚し子供を持つことよりも仕事を優先する方々が増えている。第一線で活躍する方が気兼ねなく子育てができるような育児支援を展開せねばならない。

くわづるゆき子

「子供を産み育てることが、リスクになっている社会構造」

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

手塚よしお

住み続けられる街へ

いなば太郎

課題：世田谷は子育て世代が住み続けられない
解決：住宅ローン支援+空き家活用

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

若宮健嗣

2019年の玉川、そしてつい昨年の呑川の氾濫等、河川災害の被害拡大を防ぐため、現場の細かい実情を反映させた形で、護岸工事や排水能力の強化・また地下貯水池の建造など町全体での都市基盤整備。また容積率の関係で小学校の建替えができないことが教育の不足に繋がりかねないため、地域一体を特区として運用して、学校のみならず介護ホームなど福祉や社会保障にも転用できる仕組みづくりをする。

→文科・厚労・国交と各省庁の所掌を横断した政策で、地域の諸課題を新たな視点から解決

くわづるゆき子

世田谷区の大きな課題は、子育て政策が23区の中でも立ち遅れていることです。子育て世帯が多く、共働きが当たり前の地域にもかかわらず、手取りは増えず、保育・教育・住宅費の負担は重いまます。例えば、学用品の無償化、所得制限のない給付型奨学金、幼稚園の預かり保育の十分な時間確保など、他の自治体ではすでに実現している施策が、世田谷区では未整備です。行政サービスも年齢や所属で細かく線引きされ、頑張って働き、子育てる人ほど制度の狭間に落ちてしまっています。私は、年少扶養控除の大幅な復活、学用品の無償化、所得制限のない奨学金制度への改革を国政で進め、住む場所で子育てのしやすさが決まる現状を変え、日本全体で子育てを支える国を実現したいと考えています。

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いしますか？

手塚よしお

未来への投資

いなば太郎

1,000億円は子ども・若者への投資

衆議院議員選挙東京都第5区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いしますか？

若宮健嗣

公募・審査による地域産業や文化の振興のための交付金の新設。実際にデジタル田園都市国家構想担当大臣の際に近しいものを運営していたが、たとえばこれを地域の名産品などが世界各国に進出していけるような後押し・支援として活用すれば、1000億の予算で2000億・3000億の経済効果を生み出すことができる。

くわづるゆき子

国全体で見れば、1000億円は決して大きな予算ではありません。だからこそ、広く薄く使うのではなく、効果が測れる集中投資を使います。東京都を「子育て特区」とし、500億円で保育士の待遇を改善し人材不足を解消。あわせて、0～6歳の子どもを持つ世帯に、所得制限のない児童扶養控除を創設し、手取りを直接増やします。その効果を検証し、全国展開を視野に入れます。